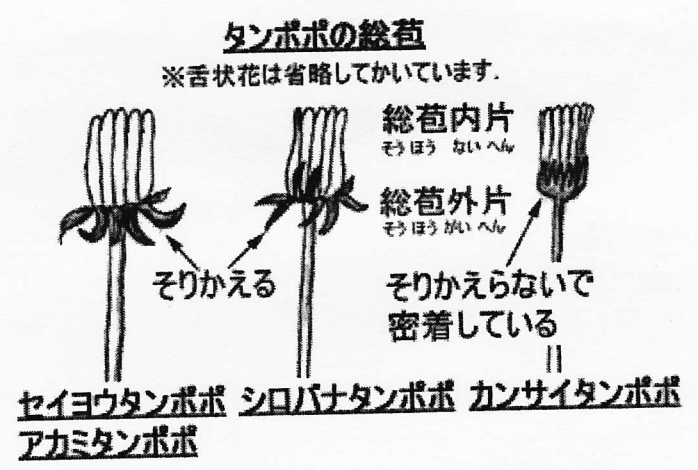


2006年4月14日

タンポポから探る生き物の分布

最近、在来のカンサイタンポポが急激に減り、代わって外来のセイヨウタンポポが増えています。その理由として、開発、競争、交雑などが考えられていますが、未だによく分かっていません。私は、受粉に訪れる昆虫が引き起こす種間の生殖干渉がその理由と考えて研究していません。今回は、京大構内におけるセイヨウタンポポとカンサイタンポポの分布、特に植物園においてだけカンサイタンポポが優占する理由について考えてみたいと思います。

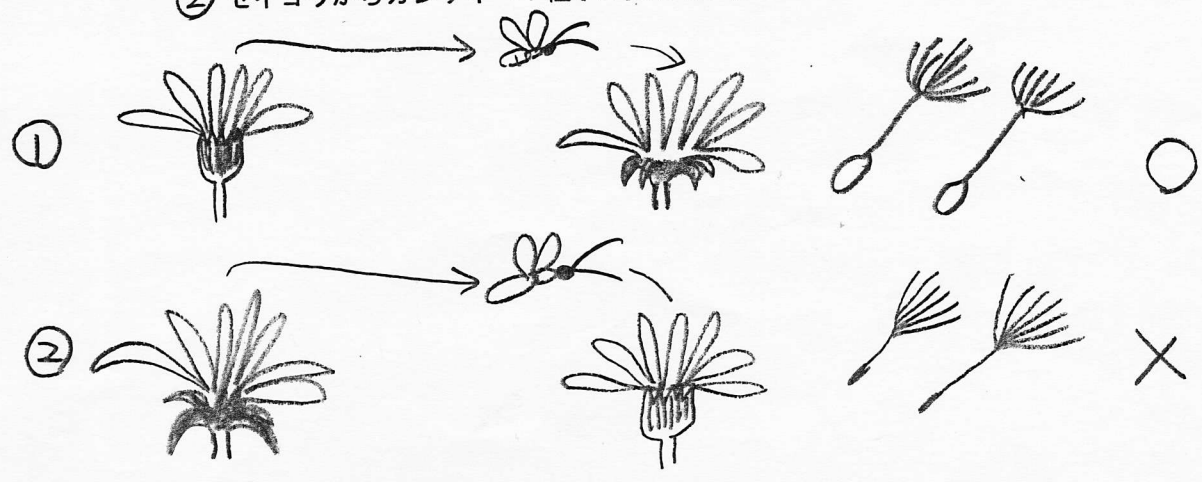
カンサイタンポポとセイヨウタンポポの見分け方



カンサイタンポポ：同種の他の花から花粉をもらわないと結実しない
 セイヨウタンポポ：無性生殖。しかし花粉を多量につける。

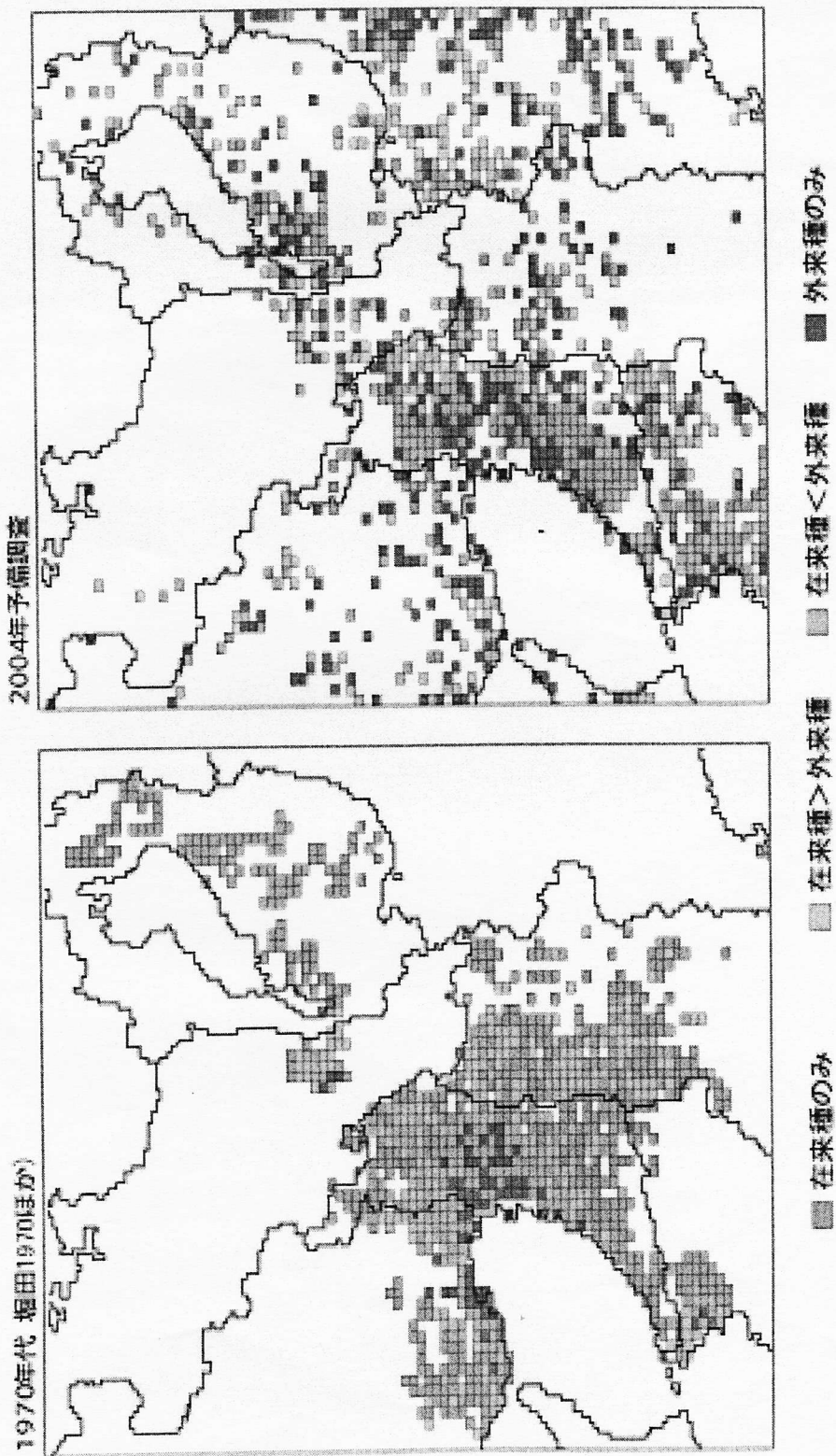
昆虫が花粉を運ぶと

- ① カンサイからセイヨウへ：影響なし
- ② セイヨウからカンサイへ：種子が実らない。ほんの一部が雑種になる。



近畿におけるタンポポの分布の変遷

タンポポ調査近畿2005 (http://www.nature.or.jp/shoko/Tampopo/Kinki_2005/)



京大北部構内のタンポポ地図

- セイヨウタンポポ
- カンサイタンポポ
- ◐ シロバナタンポポ

